

©新規エージェンシー・サンライズ

MSN-02 'ZEONG' PRINCIPALITY OF ZEON

illustrated by SHINO MASANORI



MODEL NUMBER : MSN-02 TOTAL HEIGHT : 17.3m WEIGHT : 151.2t

TOTAL WEIGHT : 231.9t GENERATOR OUT PUT : 9400kw

MATERIAL : UNKNOWN ARMAMENTS : FIVECHAMBERD MEGA BEAM CANNON ARM
WAIST MEGA BEAM CANNON HEAD MEGA BEAM CANNON



HG
UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2001 MADE IN JAPAN

*この商品には、ジオングが1体入っています。

*パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。

■ MSN-02 'ZEONG'

PRINCIPALITY OF ZEON MOBILE SUIT FOR NEWTYPE

© 銀河エーグェンシー・サンライズ

MODEL NUMBER : MSN-02

TOTAL HEIGHT : 17.3m

WEIGHT : 151.2t

TOTAL WEIGHT : 231.9t

GENERATOR OUT PUT : 9400kw

MATERIAL : UNKNOWN

ARMAMENTS :

FIVECHAMBERED MEGA BEAM CANNON ARM

WAIST MEGA BEAM CANNON

HEAD MEGA BEAM CANNON



1/144 SCALE

HG
UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2001 MADE IN JAPAN

※本機の完成品中、過剰しております。

Scanned by DaJong.net

0103327

BANDAI

MSN-02 "ZEONG"

ジオングは、YMS-1B系などの機体計画が提案された当初から開発が検討されていた機体で、度重なる特許申請と計画変更を経て、一年戦争終末期にようやく設計の完成を見たサイコミュ機體MSである。サイコミュは、ミンフスキーハーの散布技術の発達に伴って効率化された電子戦、特に連携誘導技術をほぼ完璧に代替するシステムであった。開発の途上で、ザクをベースとする試作機MS-0BZ、あるいはMSN-01などが試作されたと言われている。ただし、サイコミュそのものが、MAN-03・クラウド・ロード、MAN-08・エルメスなどでようやく実用化が達成されたばかりであり、デバイ

ス自体の小型化も困難であったため、機体も非常に巨大なものとなってしまった。脚部まで完成すれば全高は30mを超えていたとされるが、前述のプランではすでに脚部をオミットした構想もあった。技官が「完成している」と言ったのもあながち方便ではない。両腕は有線サイコミュ装備の5連装メガ粒子砲で、オールレンジ攻撃が可能である。また、頭部はコクピット兼脱出装置となっており、データとパイロットの回収率を高めている。アバオア・クーパー改防戦時ににおいて試作機が脚部ユニットや一部装甲を欠いた状態で迎撃戦に投入され、ガンダムとの交戦により撃破されている。“ニュータイプの登場”という、公国的基本的理屈を証明する究極のMSを目指して開発されたため、國名を冠して“ジオング”と名付けられたと言われている。

その機体にジョン・ダイクンの愛称であるシャアが乗るというのも歴史の皮肉であろうか。



SPEC

型式番号: MSN-02
全高: 17.3m
本体重量: 161.2t
全機重量: 231.9t
ジェネレーター出力: 9400kW
装甲材質: 不明
武装: 腕部5連装メガ粒子砲 腰部メガ粒子砲 頭部メガ粒子砲



スカートバーニア
出撃時、ジオングの完成度は80%であり、上腕部の装甲や脚部ユニットが未装備のままだった。無論、脚部は他の機体同様、歩行の性、巨大な運動機能としても機能する予定で、脚部開拓への実験を行つばかりであった。スカート後部の5管のバーニアは設計当初から設置されていたが、前部2基のコンプローマルバーニアは、脚部そのものの代替手段である。



▲頭部ユニット 機体とは独立したコクピットブロックとなっており、非常時には脱出装置として機能するが、実際にはオールレンジ攻撃の一環を担う超小型の牛山戦闘艇でもあると言える。ただし、本体から分離した場合の実用除離時間は10分にも満たないらしい。

▼脚部5連装メガ粒子砲 ジオングの両足は、上腕部から分離してオールレンジ攻撃を展開する有線ビット兵器として機能する。ミニビューレーター銃用の5指は、それそれが強力なメガ粒子砲を内蔵しており、実戦的には片腕で5つのターゲットを同時に走らうことが可能だったと言われている。ミニビューレーターは既存の機体とは規格が大幅に異なるため、MS用の武器などはほとんど使用できない。



▲腰部メガ粒子砲 ボディユニットの腰部分に2門装備されている強力な武装。砲身は相応の自由度があり、対地、対空兵器としても使用可能。



MSN-02 ジオング

ジオングは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および映画版「機動戦士ガンダム II めぐりあU宇宙(そら)編」に登場したジオン公国軍の最後のサイコミュ搭載MSである。U.C.0079年12月31日、ジオン公国の絶えぬ戦争ラインを構成する宇宙要塞アバオア・クーを巡る攻防戦が展開されていた。巨大兵器ソーラ・レイの直撃と連携の約半数を喪失したにもかかわらず、連邦軍は攻勢を保ち、結実アバオア・クーへ内陣していた。ガンダムを始めとするMSは導は十字砲火をかいくぐり、続々とアバオア・クーへの正面を突いた。そんななか、ララアを失い、グルグモ駆逐隊から赤い彗星ことシャア・アズナブルは、キシリヤから頼たな理由を与えられた。最終の艦体を目指して昇進された、名前を冠する名機のMS、ジオングである。ガンダムへの復讐に燃えるシャアは、自らのニュータイプの素質をいかしながらも、連邦軍の復讐を食い止めるべく出撃する。アムロが操るガンダムは、ジオングに目もくれずアバオア・クーを目指そうとするものの、シャアが止めた軌跡に追いつがる。「やるしか……、ないのか!?」不用意に飛び出したザクを一撃し、ジオングに迫るアムロのガンダム。シャアは追い込まれるのを感じながらも、自分に書いたかのように叫みだした。「しかし! ……私もニュータイプのはすだ!! 四方からのオールレンジ攻撃がガンダムを狙う!!

協力：ホビージャパン

HG
UNIVERSAL GUNDAM

水陸両用のハイスペックMS。

MSM-03ゴッグなどの艦体の実戦データをもとに、第二期開発計画に基づいて開発されたスコックの中でも、ジオングのパイロットでもあるシャアが、地球圏（ジャブロー）にて使用したS型には、通りすがりの筋材が使用され、スペックには表れない工程上の配慮がなされており、対MS戦などにおいても、パイロットによっては白兵戦用種差の戦果を上げたと言われている。



019 シャア専用ズゴック

一年戦争、伝説の“白いモビルスーツ”

「V作戦」に基づいて開発された連邦軍初の実戦型の試作モビルスーツである。コア・ファイターに搭載された教育型コンピューターの性能データは逐次更新され、もっとも適切な対処法を自ら構築していくことができる。このシステムはコストが高く、戦闘を体験したシステムとパイロットの収取は最優先選択だった。また、短期間での艦体そのものの機能向上や、システム自体の改善も可能だったのである。シャアはアムロが操るガンダムと、MSを乗り換えるながら難度となく戦闘を繰り広げた。

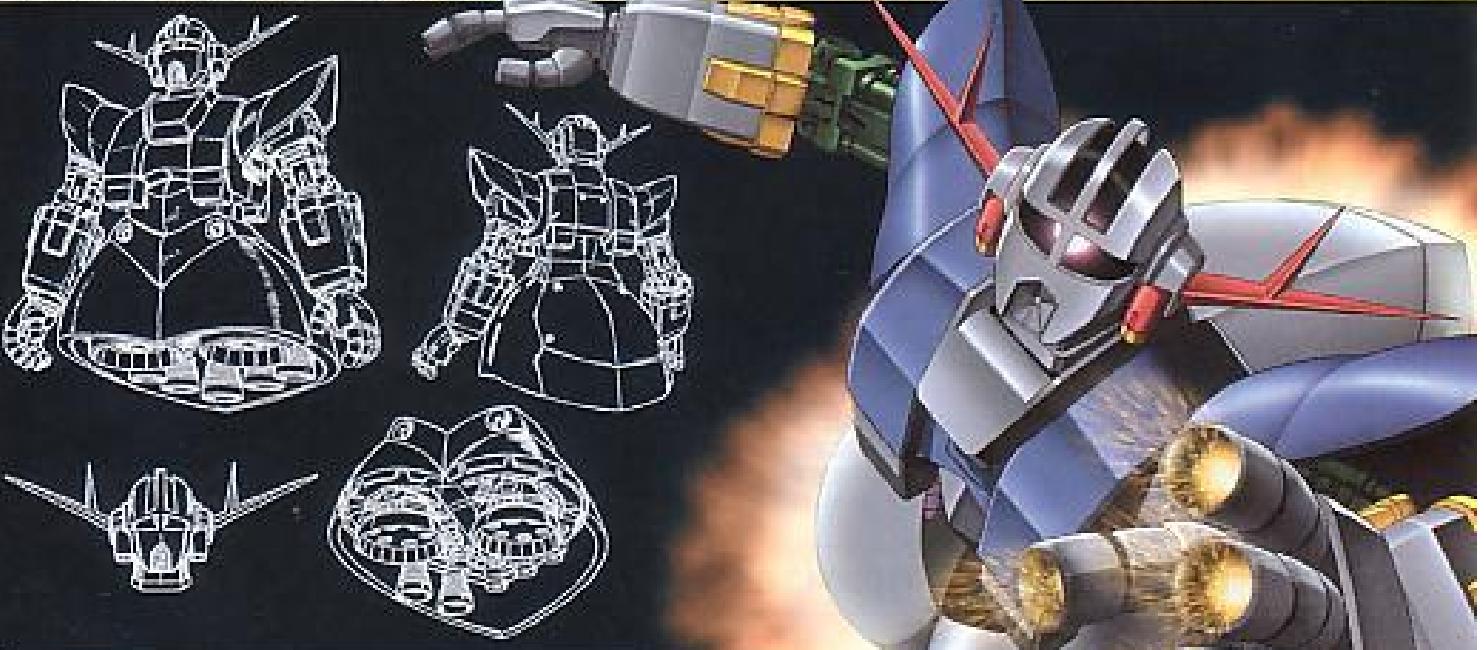


021 ガンダム

※この商品にはジオング1機以降は付いていません。

■MSN-02 ZEONG (ジオング)

デザインワークス(コンセプトデザイン：カトキハジメ)



「ジオング」のリニューアルデザインにおいては、腰部をはじめとする艦体各部のフレキシブルな可動と、脱着可能な腕部による「オールレンジ攻撃」の再現が重点的なポイントと言える。

Illustration work:
Drawn by: Saito(MAS-0003)
Photo by: 0882000

メモリアルアクション



胸部5連装メガ粒子砲



スカートバーニア



リアビュー



COLOR GUIDE

メモリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。

+部品には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、ダンゼン屋より発売のガンダムカラー（HG「ジオング」用、その他のカラーセット）をお使いください。

●頭部、スカート等：

ミディアムブルー（80%）
+ホワイト（40%）
+モンサレッド（少量）
+または、ガンダムカラー
ブルー10

●頭部アンテナ等：

モンサレッド（100%）

●胸板等：

コバルトブルー（80%）
+ニュートラルグレー（10%）
+シャインレッド（少量）
+または、ガンダムカラー
ブルー19

●胸板：

ミッドナイトブルー（100%）

●上腕、バーニア：

グリーン（70%）
+ブルーグレー02（30%）
+または、ガンダムカラー
グリーン9

●胸部メガ粒子砲：

パープル（60%）
+ホワイト（50%）

●前腕バーニア等：

イエロー（70%）
+オレンジイエロー（30%）

●スカート内部：

ニュートラルグレー（75%）
+スヌーピーブルー（15%）
+ブルー（5%）
+パープル（5%）



注 意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクスは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところの線



・シールの番号



・カーブの番号



・反対側に取り付けあ
バーツ



・両側に間にバーツを
隙り付ける



・両側に注連して
取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・取り取ることろ



・部品を複数の個数
作ります



・先に組み立てす



・後で組み立てす



・斜面に合わせて
回転させます



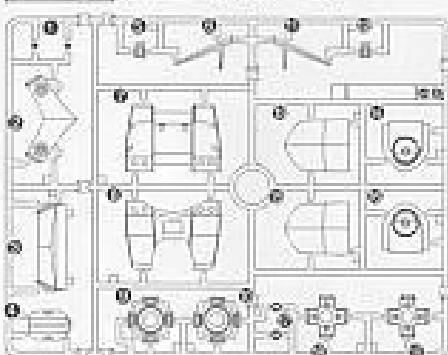
・どちらかを調かで
取り付ける



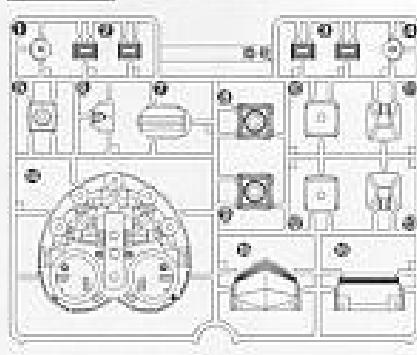
・反対側も同じよう
に動かします

パーツリスト

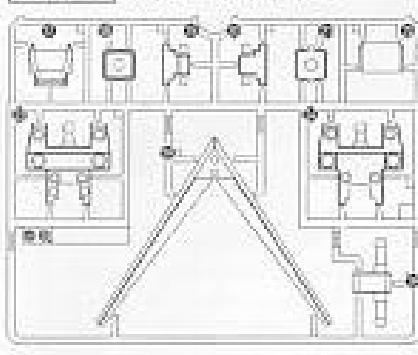
Aパート (スチロール樹脂: PS)



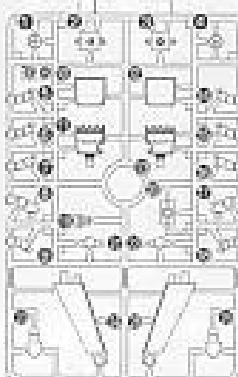
C1パート (スチロール樹脂: PS)



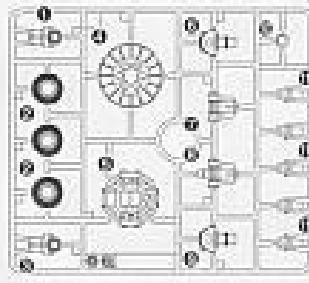
C2パート (スチロール樹脂: PS)



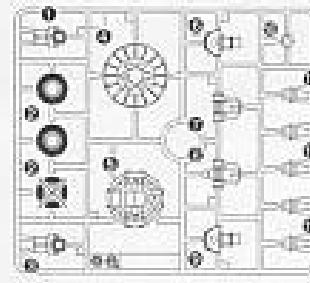
Bパート
(ABS樹脂: ABS)



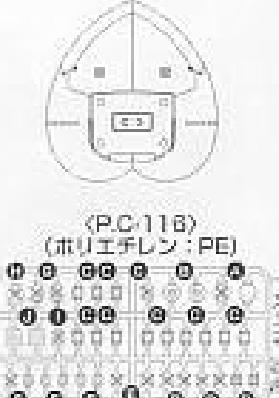
Dパート
(スチロール樹脂: PS)



Dパート
(スチロール樹脂: PS)



Eパート
(スチロール樹脂: PS)



(お問い合わせのお客様へ) 部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小包袋をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒424-8735 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315

(料金表) ■部品代は1個の料金です。

部品番号	C中	Eパート	その他の部品
部品代	100円	100円	各40円
郵送料	140円	140円	120円

For Japanese use only.

■部品注文カード

0103327-1800

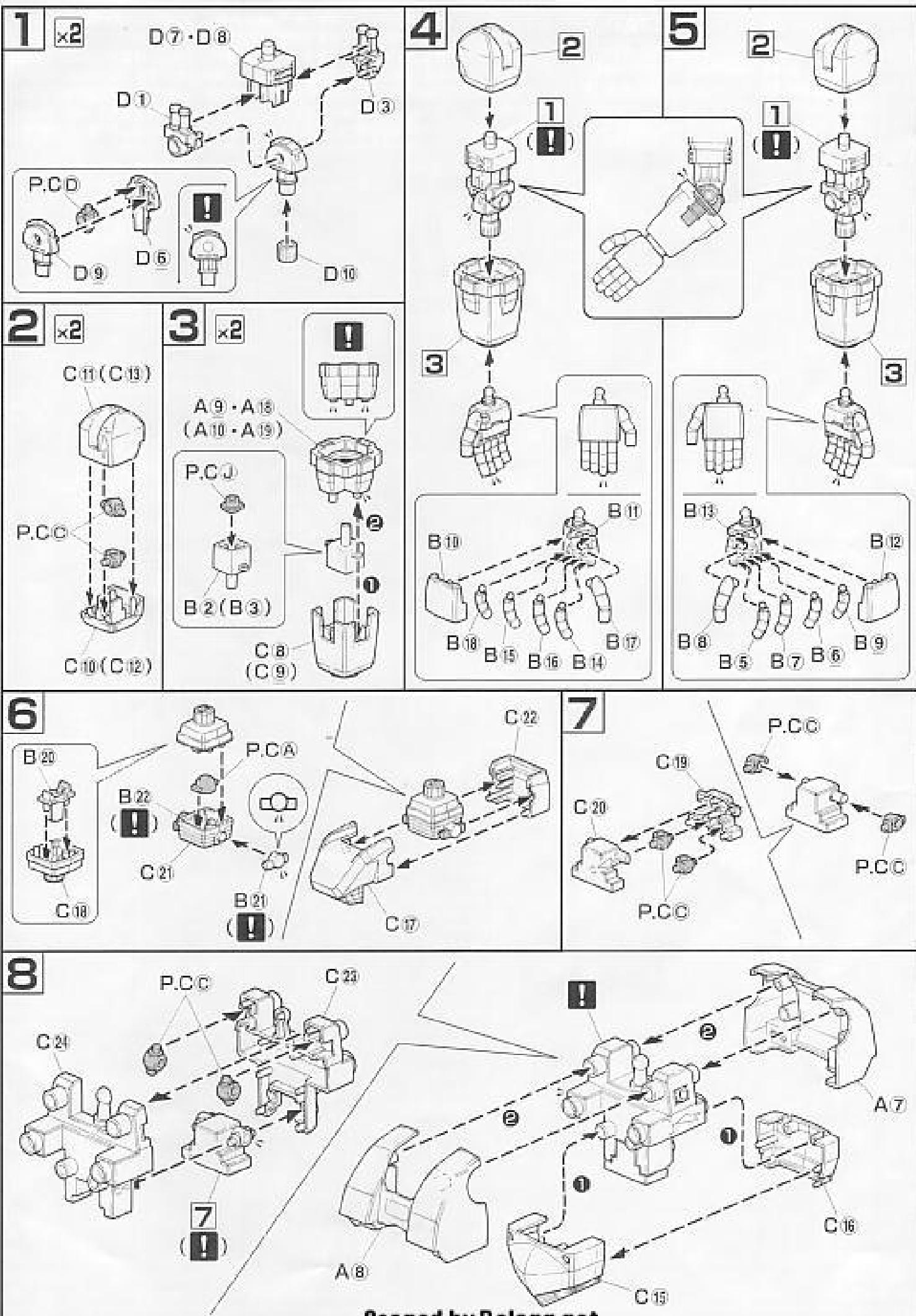
1/14 SCALE HG:UC
MSN-02 ジオング

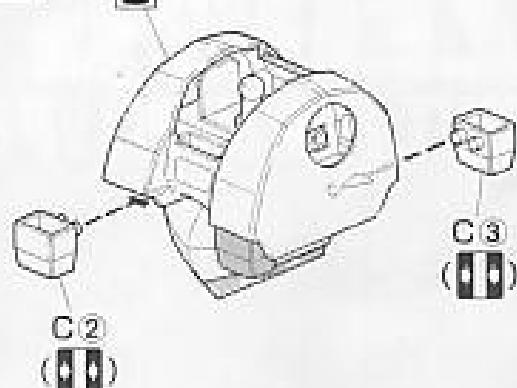
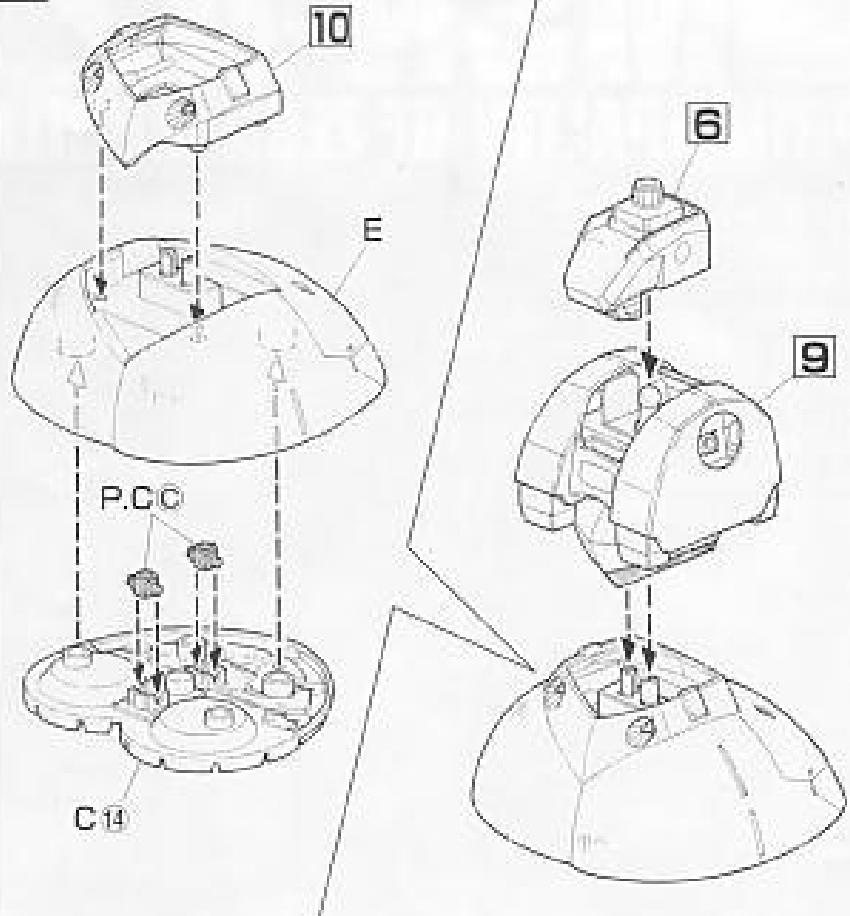
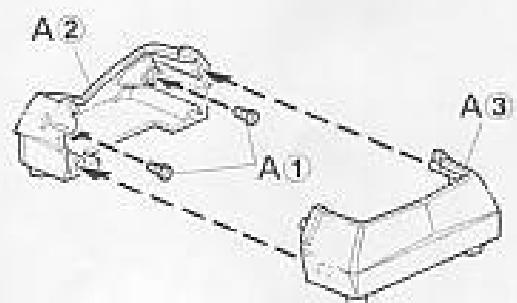
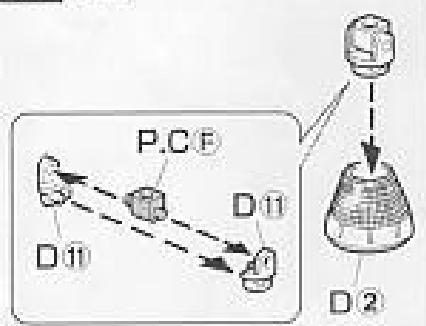
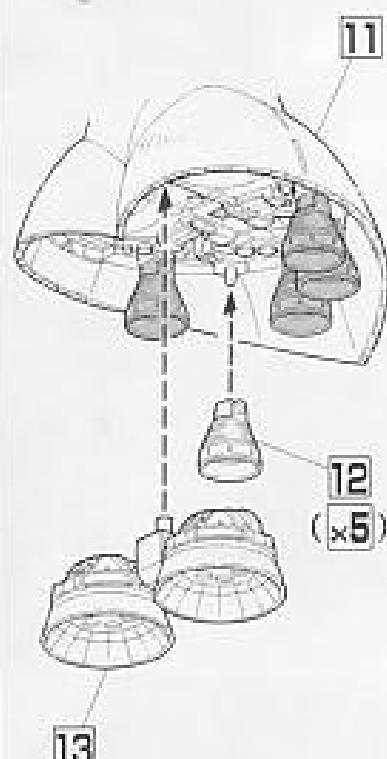
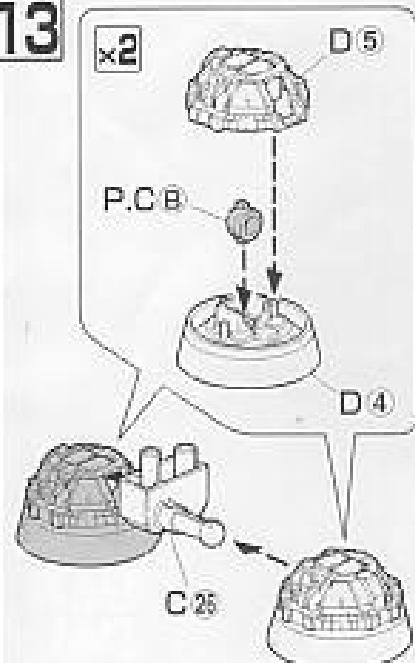
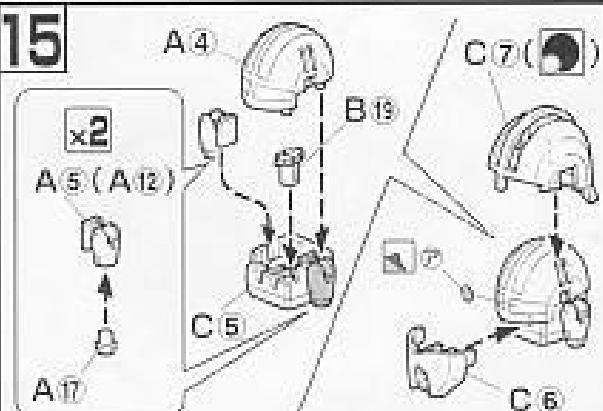
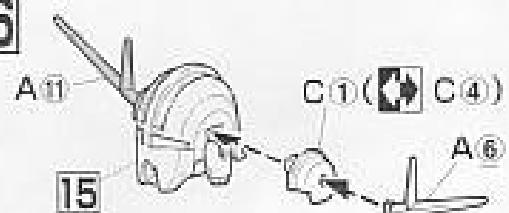
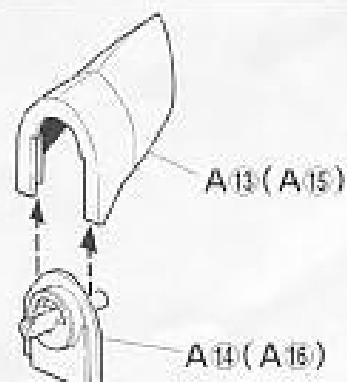
必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)にわざなくした

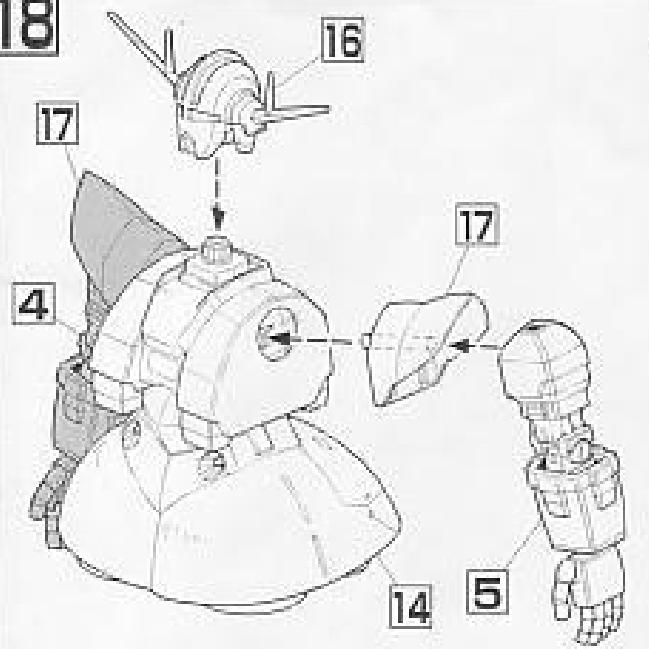
日中ご連絡可能な電話番号

(- - -) 01.06



9**11****10****12** $\times 5$ **14****13****15****16****17** $\times 2$ 

18



19

